

意識改革！ 学習習慣を見直し、志望校について考えよう。

11 月になりました。部活動などで忙しい人も多いと思いますが、毎日の学習はきちんとできているでしょうか。高校生活も後半戦を迎え、いよいよみなさんも「受験生」に変わる時期です。今の時期から志望校合格という目標を設定し、受験を意識した学習に取り組んでいきましょう。

学習習慣をチェック&受験勉強をスタートさせよう

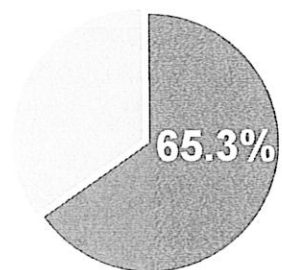
下記項目で、自分が取り組んでいるものの口にチェックをつけてみましょう。

- ☐ 平日 2 時間以上、休日 3 時間以上学習する
- ☐ 平日の学習開始時間を固定する
- ☐ ただ暗記するのではなく理解して覚える
- ☐ 間違えた問題は解き方を調べる

上記項目は…難関国立大学合格者の半数以上が、2 年生秋に取り組んでいた項目

難関国立大学合格者は学習時間を確保し、学習に対して「理解する」ことを大事にする傾向が見られます。上記のなかで、できていなかった項目は積極的に取り入れ、毎日の学習時間の確保と、徹底的な理解を意識した学習への切り替えを心がけましょう。

さらに、こちらもチェック！



2 年生冬休みまでに受験勉強を始めている 難関国立大学合格者の割合

受験勉強は応用的な演習だけでなく、基礎・基本の内容も含まれます。下のコラムには、基礎・基本を固めるために、定期考査や模試を有効活用する方法をまとめています。参考にしてみてください。

コラム <定期考査や模試の有効活用法>

- ① 受験後、自己採点をしよう
本番の受験で自己採点は必須です。練習のために、解答を控える癖を付けましょう。
- ② 間違えた問題と、正解したが理解があいまいだった問題を復習しよう
「理解できているか」を基準として、理解不足だった問題は必ず復習しましょう。
- ③ 自分の苦手分野を分析し、弱点を克服しよう
ただ解きなおすのではなく、「自分が間違いやすい分野」、「ミスしやすい箇所」などをチェックし、自分の弱点分析に役立てましょう。

志望校について考えていますか？

難関国立大学に合格した先輩は…

約 4 人のうち 3 人が



2 年生秋までに
志望校を決定している

難関国立大学に合格した先輩の 74.1% は、2 年生秋までにすでに志望校を決定していました。

志望校を調べて考え、決定することは、日々の学習のモチベーションに繋がるだけでなく、将来のなりたい姿に近づくための第一歩となります。今の時期から自分と向き合い、自分の興味のあることが学べる大学・学部・学科の情報を幅広く集めましょう。そのなかで、「自分が将来やりたいことはなにか」をよく考え、志望校を何校か絞り込んでみましょう。

志望校を調べる・考えるうえで確認したいポイント

志望校を調べる・考えるうえで、大学のパンフレットやホームページで確認したいポイントをまとめました。志望校を考えていなかった人は、下記を参考に、志望校について調べてみましょう。すでに決定している人は、自分の志望校決定に懸念点がないか、改めて確認しましょう。

大学のパンフレット・ホームページで特に注目したい4つのポイント

- ① 大学の望む人材と、なりたい自分が重なるかチェック
アドミッションポリシー（AP）を読み、自分の方向性との合致を確認しましょう。
- ② 入試の基礎情報、データを受験対策に役立てよう
入試方式によっては2年生から対策が必要な場合もあるので、必ず目を通しましょう。
- ③ 大学卒業後も見据え、卒業後の進路なども確認しよう
大学や学部によって、進路は様々であり、同じ学部名でも大学によって取得できる資格が異なる場合があります。自分の将来像と照らし合わせて確認しましょう。
- ④ 学びたいことができる施設があるかを調べよう
大学の施設は学びに直結する重要情報です。図書館など施設が充実しているかを調べておきましょう。

「スタディーサポート Planning BOOK 2 年生」より

「難関国立大学合格者」のデータは、2019 年度入試における合格者の、スタディーサポート 2 年生第 2 回の平均回答率。